

浜松観光ボランティアガイドの会

《事業部主催》～船越小学校 校外学習～

6月28日9時～12時30分、船越小学校6年生を対象に校外学習を行いました。

浜松観光ボランティアガイド事業部員9名、各ブロック1名ずつ計14名が参加し、浜松城公園駐車場から乗り合わせて、船越小学校へ行きました。

児童48名、お母さん16名、お父さん1名で父兄計17名、先生2名、参加者総勢81名でした。

最初に小学校体育館でボランティアガイドの自己紹介、田村事業部長からボランティアガイドの会の簡単な説明と今回のコースの大まかな話がありました。

校長先生からは、貴重な体験話がありました。非常に落ち込んだとき、友達に連れられて、東照宮へ行ったら気持ちが落ち着き、森からパワーをもらったとのことでした。



船越小学校にて田村部長の説明

小雨の中、傘をさして、出発しました。もし、天気が良くなるようならば、浜松城の石垣の南側で弁当を食べ、14時に学校に帰る予定でしたが、ずっと雨が続き見込みとなり、12時20分頃、学校に帰り弁当を食べることになりました。

8グループに分かれて少しの時間差で出発しました。私、戸塚は同じく東ブロックの神原さんと第一グループを受け持ちました。男子3名、女子3名、お母さん3名のグループでした。神原さんには交通安全と時間管理をお願いしました。

コースは、八幡宮 ⇒ 椿姫観音 ⇒ ホンダ発祥の地 ⇒ 玄黙口 ⇒ 東照宮 ⇒ 浜松城 ⇒ 鎧掛けの松 ⇒ 秀忠公誕生の井戸

結局、ずっと小雨模様でした。子供達はバインダーを持っていましたが、ほとんど筆記できなかったようです。

子供達は、話を興味深くしっかりと聞いてくれました。特に、金原明善の遠戚だと言う女子は、「歴史面白い、大好き」と言っていました。各ポイントで話した内容は、3年前の新人研修の時、大村会長（当時は研修部長）から頂いた資料に記載されているものです。肉付けをして使って下さいと言われていましたが、これといった肉付けをしないまま話しました。子供達の目を見てみると、話が伝わったような気がしました。自分としても、ある程度の達成感を得ました。

安全面では、突然、走り出したり、突拍子もないことをする子も無く、安心できる状態でした。逆に私自身が看板を見るために突然道路を横切り、それが信号無視の形になり、神原さんから注意される場面がありました。子供達の前で悪いことをしてしまった、これからは気を付けたいと思います。

あと15分程度で学校へ着くところで、「お腹が減って苦しい」と訴えた子があり、この子は元々体調の優れない子で、このまま歩き続けると大変なことになるのではと思われ、急ぎよ休憩としましたが、もっと早く休憩を取ってあげれば良かったと思いました。大事に至らず、皆無事に帰ることができて、ほっとしました。

事業部 戸塚正康(東ブロック)

女性学級で大村会長が講演「大河ドラマ井伊直虎と井の国」

7月11日9時30分から神久呂協働センター主催の女性学級で歴史講座があり、当会の大村会長が講演されました。限りある時間の中ではありましたが、盛り沢山のお話でした。講演資料に沿ってぐっと凝縮してご紹介します。

【初めに】

大河ドラマに選ばれた話とロケ地／プロデューサー談、海あり山あり風光明媚な浜松はロケ地として最適、長年の構想をもとに製作されたドラマとして楽しんでいただきたい。

他にもいた直虎の話／信濃須坂藩主堀直虎、鍋島藩主鍋島直虎。女性としては井伊直虎一人。

直虎以外のおんな城主／福井城甲斐姫、岩村城おつやの方、立花山城立花闇(きん)千代、戦国女大名として今川家を支えた寿桂尼。そして真田信之の妻で女丈夫小松姫は、徳川四天王本多忠勝の娘、浜松で誕生。等々。

井の国とは／きれいな水が豊かに湧き出る土地で、井伊谷川、神宮寺川の流域には古代から人々が生活し、聖水祭祀が行われていた。井の国の大王は後の井伊氏の祖先説あり。



大村会長が講演中

【直虎あれこれ】

井伊直虎の歴史

直虎とゆかりの人物の関係図、誕生から逝去までの流れ、龍潭寺代々の僧侶、二世住職南溪瑞聞・三世傑山宗俊・五世昊天(こうてん)宗建らの井伊家への貢献。

直虎に関わる史跡など

- *井伊共保公出生の井戸—井伊家発祥の井戸
- *龍潭寺—臨濟宗妙心寺派、井伊家の菩提寺
- *妙雲寺—直虎、南溪和尚の位牌
- *渭伊神社—井伊家の産土神
- *天白磐座遺跡—古代祭祀遺跡
- *井殿の塚—井伊直満、直義兄弟の墓、約170年前に、彦根城主井伊直弼が参拝し、石垣等寄贈
- *井伊氏居館跡
- *井伊谷城址—標高114.6mに築かれた山城、井伊家の詰城
- *井伊直親の墓—直虎の許嫁で直政の父、掛川十九首で朝比奈備中守に誅殺される。

井の国、歴史ロマンの旅は、まだまだ続くのですが、本日の歴史講座はここまでとなりました。

10分の休憩をはさみ、約2時間の講演は全て興味深い内容で前のめりの受講者皆さん、これからの大河ドラマが数倍楽しくなるはずです。そしてますます浜松の地に愛着が湧いたのではないのでしょうか。

広報部 藤田礼子(中ブロック)

《予告》研修部主催 現地研修 湖北五山

研修部で、初生衣(うぶぎぬ)神社～湖北五山への現地研修を計画しています。

1. 企画の狙い

このコースは平成23年度に行いましたが、現会員の過半数がその後の入会者であるため、身近にある重要文化財を所有する寺を含め、足元の文化、歴史等を再認識しようと企画しました。

2. コース

初生衣(うぶぎぬ)神社～摩訶那寺～大福寺～方広寺～宝林寺

3. 事前勉強会 9月14日(木)

・時刻・場所：10時～12時、中区協働センター2階ギャラリー

4. 現地研修 10月12日(木)

- ・集合時刻・場所：8時出発(アクト南観光バス発着所)、三方原霊園にも止まる予定。
- ・会費：7,000円予定。昼食代、拝観料込です。



写真提供：浜松観光コンベンションビューロー

摩訶那寺庭園

浜松市出前講座「井伊直虎と湖北の戦国時代」

7月14日13時30分から「市立青少年の家」において標記の講座が西ブロック主催で開催されました。講師は、市博物館展示普及グループ長(学芸員)の久野正博氏。当ボランティアガイドの会の会員39名の出席で満席でした。講師の史実に沿った講義に熱心に聞き入っている姿が垣間見られました。

はじめに主催者の山田西ブロック長から講師について「今、浜松市で一番忙しい方のお一人で、今年各地で企画実施の〈直虎から直政へ〉の特別展、江戸東京博物館(7月4日～8月6日)、静岡県立美術館(8月14日～10月12日)、彦根城博物館(10月21日～11月28日)に協力されています」と紹介がありました。

講義は「井伊直虎、国衆、遠州怨劇、井伊直虎」をキーワードとして遠州の戦国時代背景から始まりました。戦国時代まで遠江の国衆(独立性のある地域領主)であった井伊氏は、1513年今川氏親の遠江侵攻で今川家の傘下に入りました。1560年桶狭間の戦いで今川義元が討たれた後、1566年頃まで今川家を中心に遠江国衆間で騒乱が続き、直虎の誕生に至ったわけですが、NHKドラマの時代背景がよく理解できました。

1568年井伊谷徳政令の受け入れで直虎は失脚し、小野但馬守の支配に移ります。その後徳川家康が浜松城に入り、1575年の井伊虎松(直政)の家康への仕官へと発展します。虎松仕官に直虎の貢献があり、1582年直虎死去後の井伊家発展の礎になったわけですが、この間の経緯を詳しく説明いただき理解を深めることができました。

最後に大村会長から講座のお礼を述べられましたが、私も同様の感想を持ちました。ガイドの活動では、お客様からドラマを見ての質問が多いので史実との違いを認識した上での説明が必要になると思います。その点大いに勉強になりました。又興味ある話題として、①青葉の笛が割り竹を組み合わせて作られていること、②龍潭寺所蔵の南溪和尚肖像画は、生前描かれたものであること、③飯尾氏最後の引間城主連龍の末裔が関東に逃亡していたこと等。

お客様に楽しく聞いて頂ける話題を多く得ることができ有意義な講座であったと思います。

広報部 植田善和(北ブロック)



久野正博氏の講演

私の浜松駅当番日誌

浜松まつりも終わって少し静かになったこの日、私の前に品のよいご婦人が現れた。アヤメの花が見たくて、滋賀県から一人旅をして来られたと言う。

「もうね、92歳になったの。あまり歩けないから大事をとって2泊するのよ」。食料品や水、傘など入ったずっしり重いリュックを背にしている。事前にネットでフラワーパークを調べ、そこで館山寺温泉を紹介してもらったというから、ずいぶんしっかりしておられる。

しかし、一日目の今日は早めに着いたものの、何の予定もない。「どうしましょう」と言うのだ。「アヤメの花を見るなら明日一日で大丈夫なので、本日は駅の近くでゆっくり観光しましょう」と提案する。荷物は重い、あまり歩けないということだから、コインロッカー⇒うなぎ屋(昼食)⇒楽器博物館⇒館山寺ということに決めた。

それぞれの近くまで送っていき、駅までは自力で戻ってきてもらう。後は館山寺行きのバス停までお送りすることにした。並んで歩きながらいろいろお話しした。「何もこんなにしてまで出かけなくてもと思うでしょう。でもね、ひとりで暮らしていると、もうね、おそらくこれが最後の旅だとも思うのよ」そう言われて返事につまる。何度も感謝の言葉を口にして名残を惜しんでくれた。できることならこのまま付添って行きたい、と思ってしまう。

しかしあなたは偉い。花を見たいと願う気持ち、旅をしようとする勇氣、そして荷物に表れている用心深さ、自立心。ご立派です、としか言いようがない。お見送りは「気をつけて行ってらっしゃい」と万感を込める。きっとあれから美しいアヤメの花にめぐり合われたことだろう。



南ブロック 吉岡良子

！！今一度原点を振り返ってみよう！！

「新人研修 浜松駅当番留意点」より

【心構え、注意すること】

- 1) お客様の話をよく聞く。早合点は禁物。
- 2) 不明なことはインフォメーション職員に聞くなどして、的確な案内をする。
- 3) 仲間同志の不必要な私語は慎むこと。1人はできるだけコンコースに出るようにする。
- 4) インフォメーション職員とのコミュニケーションをしっかりと図る。
- 5) 職員の説明には割り込まない。
- 6) 時間を守る。

訂正とおわび

～会報7月号に誤字がありましたので、訂正しおわびします～
《7月号2ページ 標題1箇所、本文5箇所》 正：陣座峠、誤：神座峠

7月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* JTB (越後製菓他)	6回	193名
* 台湾人団体	5回	157名
* クラブツーリズム	4回	128名
* アイツアーリスト	3回	98名
* 読売旅行	3回	87名
* オイスカ開発教育専門学校	2回	74名
* エイチ・アイ・エス	2回	49名

2日 日	日本内外旅行/比企郡ときがわ部会 近畿日本ツアーリスト	87名 52名
4日 火	蒲小学校 与進小学校	193名 157名
5日 水	磐田市立長野小学校	65名
6日 木	上島小学校 中ノ町小学校	150名 51名
7日 金	河輪小学校 アワジ観光サービス	51名 42名
8日 土	エバーグリーンツアーリスト	36名
9日 日	アイツアーリスト	48名
10日 月	東武トップツアーズ/大和みのり会	49名
12日 水	和地小学校	57名

13日 木	つばき旅行会 カマタ旅行	42名 39名
21日 金	静岡サレジオ中学校	74名
26日 水	中部学園放課後児童会	84名
29日 土	平和堂旅行センターあどがわ営業所	41名
31日 月	ヨシノツアーズ/真岡市消防団 上記以外に35名以下の35団体	49名 761名

《犀ヶ崖資料館》

4日 火	蒲小学校 与進小学校	50名 52名
6日 木	中ノ町小学校 双葉小学校	51名 25名
11日 火	越後製菓	83名
12日 水	和地小学校	46名
19日 水	越後製菓	81名
20日 木	県居小学校	36名

《浜松まつり会館》

2日 日	ギャラリー茶房「笑：じょう」	48名
7日 金	静鉄観光 ((株)猿興)	55名
8日 土	神鉄観光 (神戸ビル管理)	72名
9日 日	日本方行国際 (大阪A団)	30名

はままつ案内人会報 185号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索

